

放射線治療リニアック周辺システム 評価基準

評価項目		評価項目とした理由	配点
1.全体構成	1 現在まで各システムが保有するデータベースをデータを欠損することなく移行可能であること。	必須条件	100
	2 本院が要望する装置・スペックを有し、検査・治療等の運用に満足できる仕様であること。		
	3 本院が要望する配置であること。		
	4 ケーブル配線が管理され機械・設備等がコンパクトであること。		
	5 無償保証期間内にバージョンアップしたソフトウェア、薬事承認を受けた付属品は、無償で提供すること。また、無償保証期間外においては保守契約の範囲内で提供すること。	今後、新しい技術・アプリ提供に積極的か	
2.リニアック制御システム	1 既存リニアック(ELEKTA社製Synergy)と接続が可能であること。ELEKTAリニアックとの導入実績が20施設以上あること。	導入実績があり、安定した接続、運用が可能か	60
	2 既存の治療RISと接続が可能であること		
	3 既存MOSAIQサーバー内の患者データを全て移行すること。	必須条件	
	4 既存MOSAIQサーバーの接続環境を引き継ぐこと。		
	5 リモートでのサポートシステムが構築できること	故障時やトラブル時に一次対応が素早く取れるか	
	6 ソフトウェアのみでなくハードの更新も行うこと。	必須条件	
3.治療RIS	1 既存治療RIS内のデータ(RT-A含む)が移行可能であること。	必須条件	80
	2 データ検索条件の項目・リスト内のマスターをユーザーの利便性を考慮してカスタマイズできること	データの抽出について柔軟性があるか	
	3 治療情報の詳細を院内の他部門に公開するための専用の画面を有すること。	他科からのデータ参照が可能であるか	
	4 JASRTO構造調査・放射線治療症例全国登録・がん診療拠点病院集計の出力が可能であること。	データの抽出について柔軟性があるか	
	5 未加工のデータ取り出しも可能であること。		
	6 登録されている画像をCD・DVD等に画像を参照する簡易ビューアとともに出力する機能を有すること。	他院への返信用データとして簡易的に出力できるか	
	7 本院採用の電子カルテ端末を1台(デスクトップ型)を増設し、ライセンス1つの追加が可能なこと。	業務の増加により1端末追加できるか	
	8 小線源計画装置から計画情報を受信可能であること。	外照射だけでなく腔内照射にも対応しているか	
	9 登録されている画像および画像を重ね合わせた線量分布をCD・DVD等に画像を参照する簡易ビューアとともに出力する機能を有すること。	データの抽出について柔軟性があるか	
	10 患者誤認システムとして操作室で選択中の患者IDを照射室内でID照合する機能を有すること	医療安全(患者誤認)に配慮しているか	
	11 患者IDに連携しRISにデジカメ画像を有線にて取り込めるシステムを有すること。	医療安全(使用材料間違い)に配慮しているか	
4.治療計画装置 データコンバージョン用	1 pinnacle・Xioシステムから半自動でデータ(DicomRTImage,DicomRTstructure,DiocomRTDose)を移行し保存後できること。	過去データの引き継ぎが少ない労力で行えるか	80
	2 データ移行に際して本院の求める技術的・人的支援をすること。		
	3 移行したデータは本装置にて画像に線量分布を重ねた状態で表示できること。	必須条件	
	4 pinnacle・Xioシステム本体のハードディスク以外にバックアップした外部ディスクメディアの情報も移行すること。	過去データの引き継ぎができるか	
5.治療計画装置 治療計画用	1 既存のRaystationとのデータ統合が可能であること。	必須条件	80
	2 高速計算に適した演算回路(GPU)を有し最適化計算が本院の技術的要求レベルの時間で完了すること。	計画業務が無駄な時間浪費なくスムーズに行えるか	
	3 他の治療計画装置から画像と分布のデータを受け取り・表示し、他の計画との線量合算ができること。		
	4 各臓器のROIを自動で設定するセグメンテーション機能と自動で移すプロパゲーション機能(リジット・デフォーマブル両方)を有すること。		
	5 レコード機能とプログラム言語Pythonを組み合わせたスクリプト機能に対応していること。		
6.販売実績・サービス体制・保守体制	1 直近3年以内に本邦において、製造販売業者(販売代理店を含む)が販売実績を有すること。	導入実績があり、安定した接続、運用が可能か	60
	2 年間を通じて24時間体制の連絡体制が整備されていること。	故障時やトラブル時に一次対応が素早く取れるか	
	3 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有すること。		
	4 10年間の保守費用が妥当な金額であること。	保守費用やランニングコストが大きくなるように	
	5 定期保守点検は日中業務以外の時間帯で実施すること。(追加費用なし)	日中業務に支障がないよう、追加費用が極力発生しないように	
7.整備スケジュール	1 現状の運用をしながら設置可能なこと。	日中業務に支障がないよう、追加費用が極力発生しないように	30
	2 早期の設置・本格稼働が可能なこと。		
	3 搬入・排出・設置に関して、関係法令等を遵守されていること。	本院のコンプライアンスを遵守できるか	
8.サポート体制	1 導入後、教育訓練・操作方法・アプリケーション使用方法を継続してサポートできる体制が可能なこと。	回数が多いほどスタッフの習熟度が向上する	60
	2 機器本体、アプリケーション等の定期的なバージョンアップについて、本院が実施しやすい方法であること。	今後、新しい技術・アプリ提供に積極的か	
	3 バージョンアップ等のサポートは本院の要望する日程・内容で実施できること。		
9.自由提案	1 上記以外で、本院の経営改善、患者サービス向上、医療安全向上、検査運用の業務効率化等に資する提案。例は次のとおり。 ・各システムデータ移行は納入業者が責任を持って行い、移行データの最終確認は本院職員が実施する。	患者へのより良い医療サービスの提供、術者の業務負担軽減のため	100
技術評価点			650
価格評価点			350
総合評価点			1,000